



## けいはんなRCロゴマークご紹介

*i-Brain*をコアに技術と人々がつながり、住民の声を活かした新産業を生み出す意味が込められています。また、京都・大阪・奈良からなる「けいはんな」を「K」と3本の線で表しました。

## けいはんなリサーチコンプレックス参画機関

Keihanna Research Complex Participating Organizations

(順不同:2018年11月末時点)

(公社)関西経済連合会、アトモフ(株)、(株)amirobo tech、(株)アロマジョイン、(株)エスユーエス、オムロン(株)、木村工機(株)、京セラ(株)、(株)京都銀行、京都中央信用金庫、(株)京都プラザホテルズ、近畿日本鉄道(株)、(株)国際電気通信基礎技術研究所、(株)サニー・テル、サントリーホールディングス(株)、(株)島津製作所、ジャトー(株)、スキルインフォメーションズ(株)、ダイキン工業(株)、(株)タイムドメイン、大和ハウス工業(株)、(株)テック技販、日本電信電話(株)NTTコミュニケーション科学基礎研究所、パナソニック(株)エコソリューションズ社、フィトンチッドジャパン(株)、(株)プロアシスト、(株)プロキダイ、ミツフジ(株)、大阪大学、京都工芸繊維大学、京都大学、京都府立大学、東京大学、同志社大学、奈良県立医科大学、奈良工業高等専門学校、奈良女子大学、奈良先端科学技術大学院大学、立命館大学、(国研)情報通信研究機構、(公財)地球環境産業技術研究機構、京都府、大阪府、奈良県、(公財)関西文化学術研究都市推進機構 以上45社

## プロジェクトご紹介

Project Outline

### *i-Brain*×ICT「超快適」スマート社会の創出 グローバルリサーチコンプレックス

人口減少に伴う社会全体の閉塞感の中で、人々は「モノの豊かさ」より「ココロの豊かさ」を求めています。本プロジェクトは、心に感動・活力・共感を生み出す『「超快適」スマート社会』の創出を目標としています。その実現には、ヒトの心理・行動・脳・生体情報データ解析に基づいてココロを定量的・客観的に捉える技術群の*i-Brain*(脳・人間科学技術)と、AI、ビッグデータ解析、IoTなどの最先端ICT(情報通信技術)が技術開発のコアと捉えて取り組みを進めます。

これらの技術開発に加えて、プロデュースマインドを持った人材の育成、大学・研究機関・大手・中堅・中小企業・ベンチャー・地域住民の共創によりイノベーションの連鎖を自律的に引き起こす「イノベーション・エコシステム(生態系)」の構築に取り組み、「人が渦巻くけいはんな」、「高収益事業が生まれるけいはんな」、「世界へ飛翔するけいはんな」の実現を目指します。



## けいはんな学研都市ご紹介

About Keihanna Science City

京都・大阪・奈良の3府県にまたがる京阪奈丘陵において、1987年から国家プロジェクトとして建設されてきた「けいはんな学研都市」

東西約20キロ、1万5千ヘクタールにわたり、産・学・官の密接な連携のもと、文化学術研究施設と住宅施設等を一体的に整備する「文化学術研究地区」を分散配置した、クラスター型開発が進められています。建設開始から約30年、公的研究機関をはじめ、企業の研究施設等は140を越え、人口も約25万人に達し、研究分野も、情報通信から環境エネルギー、医療、バイオと多様化し、先進的な基礎研究が具体的に社会に活用されつつあります。けいはんな学研都市は、多様な立地施設や住民が、様々なネットワークを生み出しながら、新たな価値を創造する都市として、いよいよ花開こうとしています。



## けいはんなから世界へ

# KVeCS 2018

## Keihanna Venture Championship けいはんなベンチャーチャンピオンシップ



# Grand Finale

▶ **日時**  
2018年12月20日(木)13:00~18:00

▶ **場所**  
けいはんなオープンイノベーションセンター  
(KICK) 京都府相楽郡精華町精華台7丁目5番地1

▶ **主催**  
けいはんなリサーチコンプレックス

▶ **後援**  
特定非営利活動法人インデペンデンツクラブ

▶ **協力**  
京都府・公益財団法人京都産業21

Find us on



けいはんなリサーチコンプレックスは、Facebookでイベントのお知らせと情報発信をしています。KVeCS2018グランドフィナーレの様子も後日アップしますので、ぜひ「いいね!」をしてフォローをお願いします。 <https://www.facebook.com/keihannaRC/>

13:00-13:15 > 開会

13:15-14:00 > 基調講演

Mr. Murat Aktihanoglu (ERA)

14:00-14:10 > 登壇者・審査員紹介

14:10-16:40 > ピッチ・審査

英語ピッチ5分+質疑応答5分  
途中休憩あり

16:40-17:10 > 結果発表・表彰

17:10-18:00 > 技術交流会

技術交流会は、登壇者の提案する製品、サービス、  
デモ機等を展示するポスターセッションです。

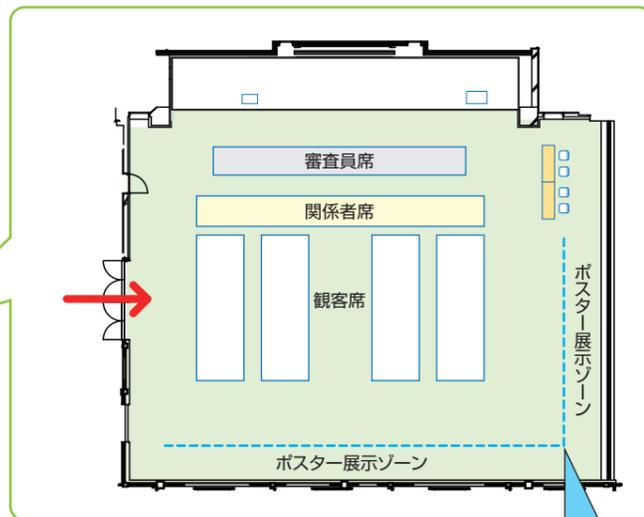
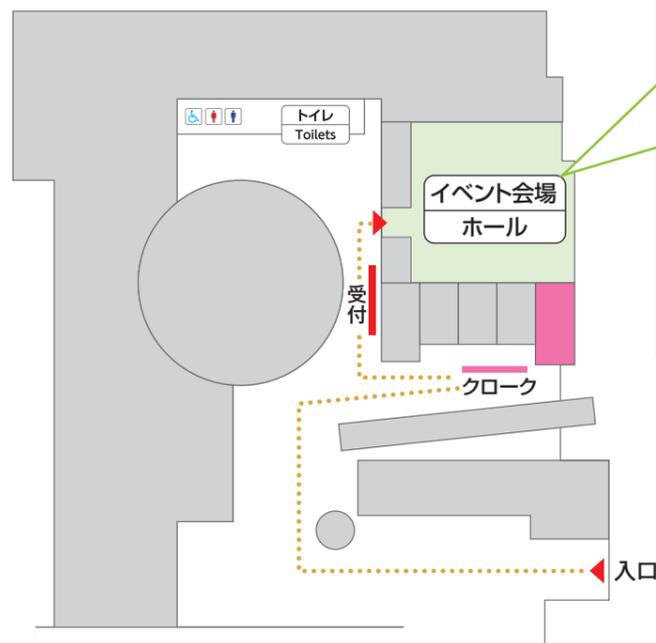
**勝者は**  
ニューヨーク市最大級の  
アクセラレータERAが提供する  
特別プログラムを受講後、  
現地投資家の  
前でピッチ!



ERA(Entrepreneurs Roundtable Accelerator)は、  
ニューヨーク市の主要産業に跨る投資専門  
家、技術者、製造スペシャリスト、マーケ  
ティング専門家、顧客獲得戦略家、営業幹部  
など300名以上から成るメンターネット  
ワークを持つ、市最大級のアクセラレータ  
です。ERAではスタートアップの早期発展  
を目的とした集中型プログラムを提供して  
おり、関わったスタートアップはこれまで  
に2億ドル以上を調達しています。

会場  
**Venue**

けいはんなオープン  
イノベーションセンター(KICK) **2F**



**ポスター展示**  
13:00-18:00  
イベント会場内では、ファ  
イナリスト12社が、事業内  
容などを紹介するポス  
ター展示を行っています。  
是非ご覧ください。

Keynote Speech 基調講演



『NYCでのスタートアップの事業展開に必要なもの』

Mr. Murat Aktihanoglu

コンピュータ科学者、起業家、投資家、作家として活躍。ニューヨークに拠点を置くスタートアップ企業の育成・投資団  
体であるERA (<http://erany.com>)の創業者の一人であり、マネージング・ディレクターを務める。ERAは、2011  
年の創業以来、127以上のスタートアップに投資・技術支援を行っており、その数は成長とともに増え続けている。

The Twelve Finalists of KVeCS Grand Finale

ファイナリストのご紹介  
会社名/代表者名/主な事業



株式会社ユカイ工学  
青木 俊介

BOCCOで離れて暮らす家族に連絡  
することができ、付属のセンサで生活  
リズムを把握することができる。システ  
ムから一括でメッセージを送れます。



RIDE DESIGN  
濱田 浩嗣

モーターサイクルレースで培った経  
験を活かし、美しさ、機能性、そして  
楽しさを融合した様々な分野のデザ  
インを提供します。



株式会社アステム  
大平 英雄

かぶるだけで脳の活性状態を管理で  
きるブレインチェッカー。かぶった瞬間  
から脳の活性状態を測定可能なブレ  
インチェッカーで脳の状態を管理します。



ゴイク電池株式会社  
田畑 英志

世界初の電池診断技術を用いたエネルギ  
ーマネジメント事業を展開します。使用済み電  
池の再利用/リサイクルの判定をわずか1秒  
で可能にした世界初の電池診断事業です。



株式会社クリエイターズネクスト  
窪田 望

Google Analyticsと連携しアクセ  
ス解析レポートをたったの1分で生  
成。月末の徹夜からはもうおさらばで  
きます!



株式会社ATOUN  
鶴丸 貴史

作業者の負担を小さくする「着るロ  
ボット」=パワードウェアを物流や工  
場などの作業現場に提供します!



PLEN Robotics株式会社  
デイヴィッド・グレイ

PLEN Cubeは、手のひらに乗るハコ型ロボットです。  
360度回転するヘッド、フェイストラッキングによる静止画や  
動画を撮影・共有するロボットカメラとしての機能のほか、音  
声認識するIoT家電のリモートコントローラーにもなります。



Child Shell  
渡邊 玲央

スマホアプリ、VRアプリ、ウェアラプ  
ルデバイスを用いて子供を安心して  
育てられる環境を提供します。



株式会社データグリッド  
岡田 侑貴

AIが人間のクリエイターの想像を刺  
激し人とAIが共に創造する社会を実  
現します。



マイクロバイオファクトリー株式会社  
清水 雅士

遺伝子組み換え微生物を利用した化  
学品の製造を通じて、バイオエコノ  
ミーの実現を目指します。



株式会社プロジェクト・ルネサンス  
玉置 典利

ストレス社会、高齢化社会の中で  
人々がストレスと上手に向き合い元  
気に働き暮らせる社会を実現する  
IoTヘルスケア事業を展開します。



CAN EAT  
田ヶ原 絵里

食べられないものがある31億人の外食を  
救う「CAN EAT」食べられない人が持つ外  
食の悩みを減らし、外食産業の人手不足問  
題の解消を実現するアプリサービスです。

Judges 審査員のご紹介

株式会社国際電気通信基礎技術研究所  
代表取締役専務  
けいはんなRC  
戦略ディレクター&イノベーションハブ  
推進リーダー  
鈴木 博之 氏

Entrepreneurs Roundtable Accelerator  
Founder and  
Managing Director  
Mr. Murat Aktihanoglu

IDATEN Ventures合同会社  
代表パートナー 足立 健太 氏

ITPC  
代表 潮 尚之 氏

株式会社iKoyoo  
代表取締役 伊東 伸 氏

Global Digital MOJO  
Founder  
and President Dr. David M L Williams

株式会社Darma Tech Labs  
代表取締役 牧野 成将 氏